

(会議の経過) 第3回宍粟市スポーツ推進計画策定委員会

発言者	議題・発言内容
事務局	<p>※開会</p> <p>こんにちは。本日は出席いただきありがとうございます。本日、4名の委員の方の欠席の連絡を受けております。それでは第3回策定委員会を始めさせていただきます。兵庫県がまん延防止措置の対象となり、市内でも感染者も出ている状況にあります。会議については、早めに議論ができればと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>※あいさつ</p>
事務局	<p>それでは、委員長より進行をお願いいたします。</p> <p>(1) 次期国スポーツ基本計画・県スポーツ推進概要について (2) 市民アンケート分析結果 (3) 中・小・就学前保護者対象アンケートについて (4) 市スポーツ団体アンケート (5) 市関係課との意見交換での主な意見について</p>
委員長	<p>議事に入ります。事務局から説明をお願いします。</p>
コンサル	<p>※次期国スポーツ基本計画・県スポーツ推進概要について、市民アンケート分析結果について説明</p>
事務局	<p>※中・小・就学前保護者対象アンケートについて、市スポーツ団体アンケート、市関係課との意見交換での主な意見について説明</p>
委員長	<p>説明をしていただきましたが、質疑等がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>委員長から金太郎あめという話がありましたが、市としてアンケートのいい結果がとれたと思います。SDGsのことを踏まえて意見が欲しいという話があり、重要な項目であると思いますが、これを踏まえた内容で何か感じたことがあればお願いします。</p>
事務局	<p>アンケート分析結果でも、スポーツに関心が高い人が多いことがわかりました。後半は、市の独自施策を出していましたが、自由意見を踏まえて、アンケートを通じてわかったことは情報発信について、末端まで知られていないということ。アンケートを通じて取組を知ったという意見もありました。SDGsで健康づくりの関心が高いということ。2回目の委員会でもSDGsをふまえた意見交換をしてもらいましたが、まちづくりの視点、つながりづくりに期待をもらっていると思います。アウトドアスポーツ、環境問題などいろいろ波及するところが、スポーツを推進することで出てくると思います。特に、前回の委員会で、兵庫教育大学の先生から、宍粟市の持続可能性を考えていくためには、アンケートの結果の深堀は必要であるとのご意見もいただいております。</p>

委員	細かく表示されていると思いますが、宍粟市は国、県と比較してどうなのでしょう。子どもの体力を見ても数値がよくない。どのような現状なのでしょう。
事務局	クロス集計で出ていませんが、18 ページのところを見ていただき、週に3日以上運動習慣のところを見ると、男女共同参画プランなどでも目標数値を挙げていますが、宍粟市は全国と比較すると、低い数値が出ていたと思います。
委員	資料を見ても悪いと思いました。
事務局	そこに対しての施策をどう打ち出していくか。底辺を上げることが必要だと思いますし、持続してもらうためにはどうしていくか、これから、比較して整理していきたいと思います。現状は、低い結果であると思います。
委員	情報発信もしていないと思います。
事務局	結果として真摯に受け止めていきます。
委員	回収状況 43.2%で、イメージとして率が低いのではと感じました。
事務局	他の市町のアンケートと同じくらいではないかと思っています。回収率としては4割を超えていれば問題はないと考えています。また、統計として信頼できるものであるかというラインとして配布数は検討し、そこはクリアしていると考えています。
委員長	他にありませんか。
委員	宍粟市の実態を把握して、何をしていかないといけないのかが分析されていないので、クロス分析をお願いします。
委員長	小中学校は、学校における体育的な割合が高いです。生涯体育と考えて、一般的な市民の運動に対する思いがあるのかを分けて考えないといけないと思います。小中の場合が、学校教育に提言をするなど、これをまとめてここで話を進めていくと難しいと思いますので、生涯体育の観点で、これから先どのように取り組むか話し合いででてくればと思います。
委員	生涯スポーツ、生涯にわたって行っていくスポーツを、みんなが考えていることはわかりました。健康思想を考えられていることはわかりました。具体的に、今回のアンケートの設問の中で、例えば高齢者で、転倒予防のために運動をしていることもスポーツに含めているという働きかけをしているのかどうか。問51について最後に質問されていますが、そこまでたどり着かなかったのではと思います。数値が低いと思いました。
事務局	働きかけについて、スポーツと言いながら、日ごろの運動習慣も含めて、1,270

	<p>通の中で、人口比率的なものも含めて全体総数を出した関係で、転倒予防まで意識して書かれていない方もいるかもしれません。高齢者の担当課とも連携を取りながら、深堀をして検討していきたいと思います。問 51 の国、県で掲げられている設問と、市独自にやっている設問をミックスした関係で、そこにたどり着くまで時間がかかったという自由意見もありました。結果としては、クロス分析をしながら、意見をいただき、作業を進めていきたいと思います。</p>
委員長	他にないですか。
委員	<p>「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」については、10 年位前に始まりました。4、5 月に体力テストを行い、その結果をもとに、各学校で分析し、課題を明らかにし、体育の授業や部活動などで、半年かけてそこを補うようにしている。柔軟性は、体育の授業で最初に柔軟体操を行うなどの取組を行い、また、12 月ぐらいに悪かったところの測定をして、その成果を毎年、教育委員会に報告しています。その課題が克服できたかはわからないが、少しでもよくなっているのではと思います。</p>
委員	これから成果が出てくるということですか。
委員	柔軟性をどのように克服していくか難しいところですが、柔軟性が伸びるような授業をめざすよう取組を進めます。
委員	来年の結果を楽しみにしています。
委員	健康運動指導士をしています。結果を見ると、立ち幅跳びも男女とも低い状況です。体力づくりの担当として、柔軟性、立ち幅跳びなどは、きちんとやれば伸びるところですが、普段やっていないということです。ちゃんと、学校でも朝練で走っていますが、走る前に柔軟をしていれば伸びます。やられていないことがわかりました。簡単にできる運動です。
委員長	他に意見はありますか。
委員	市でどのように準備体操を行っているか調査はされていますか。
事務局	小中学校やスポーツ団体について、運動する前は、あまりストレッチはしていない状況です。それよりも運動後のダウンを行っているところが多かったです。事務局がイメージしていたところと違っていました。どちらかといえば、ストレッチよりも体幹をメインにしているチームが多かったです。
委員	それが結果として出ているのではないのでしょうか。
委員長	結果的には、家での生活習慣が欠如しているのは事実です。学校ですべて賄えるものではありません。結果として体力テストに表れています。

委員	<p>・アンケート分析結果を踏まえての意見交換 これからのスポーツ環境について</p> <p>柱は、「これからのスポーツ環境について」「する、みる、ささえる」ということを立ててもらっています。今話題になっている、子どもの運動という側面も課題であり、実施率もそうだと思います。そこを含めながら、柱は2本あるが、気になるところ、宍粟市にこんな人たち、こんな場面が増えてほしいなどの願いみたいなことでもいいので、具体的にいただければと思います。そのための材料で、数値的な部分と、自由記述を参考にしてもらえればと思います。</p>
委員長	<p>いろいろな意見を出していただいた場面を想定しながら、特にどのようなことを考えられるか、意見をいただければと思います。</p>
委員	<p>スポーツクラブについて、宍粟市は動いていないのではと思います。各地元の結果を見ても、広い範囲ではなく、地域の場の設定のほうが参加しやすいと思います。スポーツクラブを見直すというのがいいのかわかりませんが、地元密着型にして、スポーツをする機会を設けていかないと、放っておいたらうまくいかないと思います。各自治会には体育委員はおられますか。</p>
事務局	<p>今はまちまちの状況です。地域イベントと一緒に運動会をしたりしており、実行委員会形式で行っているところもあり、コロナ禍で下火にもなっています。</p>
委員	<p>コロナで動けない状況であると思いますが、老人クラブや子ども会と一緒に考えて、声をかけたら動いてくれると思いますが、声がけの動き出し、情報提供も含めて考えていければと思います。</p>
委員長	<p>アンケートでも出ていて、極端に違うのはそこだと思います。地域の参加率は高いです。地域で、自治会単位でスポーツに取り組んでいるか、協力している人がいるか。無関心なところは、そういった意識がありません。全体の中で、生涯スポーツをどのように考えているのか。今から意見を出してほしいのは、自治会での小さい単位でもスポーツ推進員がいます。そういった意識を大切にしないと盛り上がりません。</p>
委員	<p>教えてほしいですが、30～31ページのところです。実際に、地域で主催するイベントへの参加が一定数多いのは事実です。多くは自治会などが書いてありますが、どのようなイメージで回答されたのかを教えてください。地縁のつながり、地区、集落が強くて、そこがダメになっている意見があるからこそ、スポーツで立て直すという意見もあります。逆にそこに期待しても難しいという意見もあると思います。地域でどのようなものが行われているのかを教えてください。</p>
委員	<p>老人クラブ活動の中で、グラウンドゴルフの体育部として行っており、週に3回行っている人もいます。また老人クラブが認めているコーラス部もあります。そうすると、皆さん参加しやすいです。私が行っている健康体操も、老人</p>

	<p>クラブを中心に行っています。カラオケ部もつくりました。参加しやすいです。何人か好きな人が歌っています。</p>
委員	<p>老人クラブのつながりで、会も入らず少なくなったというところもあると思います。お願いしたいのは、この設問こそ、年齢別でどのように表れているのか、問 14 のクロスが必要だと思います。ここでは、若い人はほとんどいないと思っており、年齢層が高いと思います。自治会単位で大会を主催していると思いますが、そういうのもここに入っていると思います。</p>
事務局	<p>競技スポーツの部分でいうと、山崎町を中心にした団体もありますし、他の地区で行っているところもあり、そういった中で年間の活動を行っています。その中で、市の大会もやっているところもあります。スポーツ推進員は支部があり、4つの町のオリジナルの活動も行っており、その一つの支部活動に参加するのであれば、支部の活動が地元の活動として回答されていると思います。地区別にみても、どこの年代の人が、どこに住んでいる人がどうなのかがわかってくると思います。</p>
委員長	<p>他にありますか。</p>
委員	<p>コロナが続いた中で、全体的に下火になってきていると思いますが、コロナ禍を外しても、このような傾向はあったのではないかと思います。スポーツクラブ 21 でやっているが、兵庫県が国体をめざして、全小学校区で立ち上げ、その時はよかったです、今は総会に集まるだけです。活動も、兵庫県のスポーツクラブも下火になってきており、宍粟市でも中学校単位で1つできればという状況です。県下で下火になってきている中で、統合型、吸収型を選ばないといけないといわれています。再考しようとしても難しい状況だと思います。学校の部活動以外で考えたら、老人クラブを中心としたゲートボール、野球のリトルリーグ、少女バレーが一生懸命やっておられる状況です。その中で、自分としては、地域で、まちづくりと兼ねて、コミュニケーションして健康づくりもできればいいと思っています。</p>
委員長	<p>他にありますか。</p>
委員	<p>体育委員などの裏方の人が地元で声をかけて、参加してもらっています。地元の運動会で、何をすればいいか、動き方がわかると動けるのですが、考えるのは難しいです。何かに入って動いてもらおうと動けるし、身近な感じがします。組織的でなくても実際に動く人がいないと難しいと思うので、広く、細かいところで、つながりを持てるようにしていけばいいのではと思います。グラウンドゴルフを自治会で行っているのであれば、自治会で積極的に声をかけるリーダーがいると継続的に行われると思います。いきいき百歳体操では、声かけ役が「やるよ」と声かけすることでできるのではないかと思います。</p>
委員	<p>宍粟市には「しーたん体操」があります。まちの名前をつけてやっているところはありますか。</p>

委員	普及しているかどうかは別にして、スポーツ推進員が作ったりしていますが、そんなにはないと思います。
委員	学校などに集まって、まち独自で行っているところは少ないのでしょうか。
委員	少ないと思います。名前は聞くことはありますが、実際はやっているのかどうかは定かではないです。
委員	柔軟性が低いということで、それを盛り込んだ体操を作って、学校で実施するなどではできないのでしょうか。
委員	問題ないと思います。山崎小学校では、リズムトレーニングを大学の先生に入っただいて、リズムを中心にした、子どもの体力のアプローチを数年間やっているの、学校でも工夫されています。学校でこういうことをやっている、これを保護者や家庭でもやってほしいということも発信していく必要はあると思います。
委員	リズム体操はクラブで行っているのでしょうか。
委員	城下小学校、山崎小学校から広がって、中学校も全校で実施するというので、授業の最初に取り入れています。
委員	柔軟運動も取り込んでいくと広がっていくのではないのでしょうか。
委員	柔軟とは違います。音楽をかけながら、ジャンプしながらやるので、柔軟とは別で取り組んでいかないといけないと思います。
委員長	取組の意見をいただきましたが、他にありますか。
委員	国の流れと絡むと、新たな3つの視点があります。国も既存の仕組みにとらわれずに、組織が集まるなどあるが、おそらく、お世話をするなどの土壌があるということが、全国的に課題だと思います。そこの言い出しっぺをどう作っていくか。昔は言い出しっぺがやっていくと決まっていた、それが順番に回ってきて当たり前でした。魅力ある人が、声をかけていくことによって広がっていくと思いますが、そこが悩ましいところです。成果はすぐに出ないが、何かを考えないといけない。市は最低限のことをやっていくが、自主的に組織されているところによります。持続していくためには、何をしないといけないのか、議論をしないといけない必要があります。特効薬はありません。そこをどのようにしていくべきか。一つの例で、中学校の子どもに、ジュニアの次世代のリーダー育成、文化活動やスポーツ活動など社会教育的に行っているところもありますし、どこかにフォーカスしていかないといけない時代だと思います。
委員長	体育協会も指導者が高齢化しています。協会の中でも、若い人が出てきているところもあるが、子どもが減っているの、大会に行くたびに参加者が減って

	<p>きています。そうかといって、若い子が入ってきていないかというところ、そうでもないところもあります。ある程度、こちらが意図的に、自治会の話であるが、高齢者が多くなっているの、世代を下げて育てていく環境づくりが必要だと思えます。市は音頭を取っているくらいです。実際動くのは、自治会の単位、小学校の単位で、若い人も参加できる形でみんなが育っていかないといいなと思えます。盆踊りを小学校で行っていますが、小学校に教えるということで、4年生以上の子どもに、夏休みにラジオ体操が終わってから1時間教えていました。そうすると、子どもに続いて他の人も続いてくれました。これは祭りの話ですが、スポーツも同じようにできないかと考えています。しっかりした計画を立てていければと思えます。</p>
委員	<p>可能性として、子どもとPTAをターゲットとして動かすことはできるのでしょうか。</p>
委員	<p>以前は、どの学校でも学校対抗でバレーボールを行っていました。今はコロナの関係でできていない状況となっておりますが、保護者の方々がたくさん参加されてきました。昔はママさんバレーも頑張ってもらっていましたが、最近は少なくなってきていると思えます。さらに以前は、男性も学校対抗でソフトボールをされていましたが、少子化によってできなくなりました。</p>
委員長	<p>可能性は残っていると思えます。</p>
委員	<p>コロナが収束したら、継続的に行っていくところもあると思えます。また、学校によっては、校内で学年ごとに保護者を集めてバレーボール大会を行っているところもあります。コロナが収束すれば始まっていくと思えます。</p>
委員	<p>体育協会でもバレーボールは盛んではないのですか。</p>
委員長	<p>昔は旧町のクラブが多くあったが、参加者自体が少なくなってきました。</p>
委員	<p>PTAの方々が、子どもが卒業しても継続して行っているという話は聞きましたが。</p>
事務局	<p>男性のチームはたくさんありましたが減ってきました。</p>
委員	<p>そういった年代の方々は、忙しく参加していません。昔は職域でも、役場でもありましたが。</p>
事務局	<p>クラブ活動はありますが、参加者は少なくなっています。</p>
委員	<p>昔は婦人会もあったが、今はなくなってきて、急激に少なくなりました。平成3年から8年くらいまでは多くありました。人口が減ってきたことでもあります。</p>

委員長	いいカンフル剤があればいいと思います。
事務局	活動されていない人に、興味や関心を持ってもらい、きっかけを作ってもらい、持続してやっていくという道筋がうまくまとまればと思います。それは何かはすぐに出てこないところですが、目標にしていきたいと思います。運動習慣がない世代に対して、ほかの市町はどのように取り組まれていますか。
コンサル	働き世代の方々は、どうしてもというところがありますが、子どもを巻き込んだ活動というのがあります。子どもから言われると、親も動き出すということで、子どもから親に対してのアプローチもできるのではないかという意見があります。おじいちゃんやおばあちゃんにも影響を与えます。どこかにターゲットというよりは、そこから波及させていくという考え方もあるのではないかと思います。
委員	子どもにアンケートを取るが、親と一緒に何かする、巻き込んで行っていくのかという形式になっているのでしょうか。
事務局	子どもの状況として、単純に運動をしているか、スポーツが好きかを聞いています。
委員	親と一緒にランニングをしていて、親と何かに参加してもらおうというアンケートにはなっていませんか。
事務局	盛り込むことは可能だと思います。アンケートで、だれと行くかというところもあります。そこで、どのような捉え方をして、どのような回答が返ってくるかわからないので、委員がおっしゃる意見につながるかどうかはわかりませんが。
委員	一緒にというのを増やしていかないとつながっていかない。持続可能性でいうと、そういったところではないかと思います。アンケートにも反映したほうがいいのではと思います。
事務局	できるだけ手を加えて、検討していきます。
委員	小さい子どもの場合は、親子で一緒にというのがありますし、文化活動もそうだが、子どもたちだけでやり、大人も関わってほしいとした場合に、子どもは運動をしているが、大人は違うことをしているパターンもあります。お母さんはヨガというようなセットでも考えられると思います。託児機能を持たせたりということも、文化・スポーツに関わらず、子育て世代には必須だと思います。今は、預けて終わりというパターンだと思います。車で子どもをおろして帰って行って、また終わったら迎えにくるなどは関わりがありません。今の親に合うようにしないといけません。
委員長	運動される高齢者の方々、集まる楽しさを知っています。今の世代の方は、

	<p>そういった楽しさを味わうといった経験が少なくなっています。仲間と触れ合うことも少ないし、家でのゲームが多くなっています。何かいい方法は見いだせないか。小さいことでもいいので意見があればと思います。</p>
委員	<p>千種では、杉の丸太で卓球大会が行われ、若い人が楽しそうに競技されていました。</p>
事務局	<p>スポーツ推進員の千種支部で考案したもので、つながりづくりにもなっています。終わった後も、リベンジマッチということで継続して行われています。</p>
委員	<p>宍粟は山もあり、ツアーでサイクリングを若い人がやっています。</p>
事務局	<p>各課との意見交換で、サイクリング、アウトドアスポーツに力を入れようとしています。きっかけから楽しくつながりを持ってもらう視点は必要だと思います。</p>
委員	<p>若い人はそのようなことが好きですね。</p>
委員長	<p>特色を考え、イベントで仕掛けて、継続性を持たせることが大切です。特定の人ばかり世話をして、世話をしたことがない人が来て、文句ばかり言われてもよくないパターンもありますが、そういうところで、体育的な、スポーツ的なイベントで、何か仕掛けて、なおかつ継続していく手立てがあると変わるのではないかと思います。</p>
委員	<p>準備運動をしっかりしないといけないと思います。それに「しーたん体操」を絡められないかと思っています。保育所で体操をしているが、子どもには難しすぎてできない。大人には物足りない。実際「しーたん体操」は、どうですか。よくできていると思いますか。</p>
事務局	<p>覚えてすぐに撮影がありました。単純なようで、難しい動きがあって、高齢者には難しい体操という印象です。</p>
委員	<p>子どもと高齢者には難しく、小学生ぐらいにちょうどよくて、中学生には物足りないものになっています。少し手を加えることによって、共通の準備運動になるのではと思います。体が硬い小学生、中学生に取り組んでもらい、体力向上にも使えると思います。各家庭で「しーたん体操」をしてもらって、集まって大会もできるかもしれません。市で考えられないでしょうか。</p>
事務局	<p>アイデアとしては面白いと思います。計画と関連付けた施策案として捉えていきたいと思います。</p>
委員長	<p>他にありませんか。計画を作っていく中で、特に聞いておかないといけないことはありますか。</p>

事務局	担当としても、思っているよりも知られていない、取組を進めている割には、もう少し数値が欲しかったのが感想です。それに向かって、今から作る計画は、議論の中で、子どもから高齢者まで、全体で市民の皆さんが、スポーツに親しんで、健康になることを考えていく計画なので、そこを、年齢区分を考えながら、どのようなことをしていくべきかの議論を進めていかないといけない部分と、環境整備で考えると、アンケートでも、自宅から近いところで活動されている方も多く、一方で、できるだけ今ある施設を活用しながら、便利に使っていくように考えていかないといけません。自治会の話ですと、地域から機運を盛り上げる仕掛けを考えていかないといけない。一体的に整理していかないといけないと思います。次回以降、骨組みから肉付けができるように、相談しながら議論を進めていければと思います。
委員	しそうチャンネルはどのくらいの視聴率があるのでしょうか。
事務局	それは出せませんが、加入率は、北部の方はほとんど加入されています。番組も充実してきたので、南部でも加入率は増えてきています。
委員	サイクリングロードも出てきています。
委員長	しーたん放送を有効に活用したらと思います。
事務局	情報発信も課題だと思っています。
委員長	人が集まり、口コミで広げていく。宣伝方法も使いながら。よろしいでしょうか。
事務局	欠席の委員には、意見を聞けるようにします。
事務局	・次回日程 次回の日程は、3月17日木曜日13時30分からを予定しています。会場は調整中です。日程が変わるようでしたら、事前に、委員長、副委員長と相談しながら決めていきます。
副委員長	※あいさつ ※閉会

* 発言者の表記は、「委員長」、「副委員長」、「委員」、「事務局」、「コンサル」とする。